\mathcal{O}

です

恩

だく最も大切な行事で み教えを聞かせている。 Ł NO た

いいです。 7 ゆ 、来のご本願の上に問い訪ねてゆ て「本当に大切なものは何か」 たご恩に感謝できる人生の歩みを進 それは聖人を慕 み教えを依りどころとして、れた、私たちの先祖の皆され ちの現実」 を深く見つめ、 って困難な時代 の皆さまも同様 を阿弥陀とできない かれまし ごも生き し め た だ

ねにいも 色のものではなくて、 お仏壇の尊前にお供 あります) を点燭し、 赤 えするろうそく いろうそく 普段より (お 寺 て

ますが、 門徒総代までお尋ねください 各地区の門徒総代から連絡があると思 にお給仕 ご不明な点は、 しましょう。 直接、 西林寺 また

やご都合のつかない場合は随時お参りして までご連絡ください 次のお参り日程に記載のない

お気遣いなきようにお願いします。 ナ禍につき、 僧侶への茶菓の接待

恩講 お り 日

浜宮地 10 月18

金

 上
 西
 森

 条
 11
 側
 11
 浜
 11

 地
 月
 地
 月
 地
 月

 区
 30
 区
 25
 18
 15
 区
 9

 日
 日
 日
 日
 日
 日

12 月 5 日 月

日

16

日

例 12条12村 月地月地 19区13区 火

日 月 23 日 金)

毎年、1月 年, のお供え) 誠にありがとうございます 月 仏教婦工 「お鉢米 をつないで 人会の 忌報恩講と8 八会の皆さまにお世話いた報恩講と8月のお盆に の皆さまにお世話い 心講と8月のお盆に ただい てます

「報恩講三寺参り」 \mathcal{O} のため中止とします。報恩講三寺参り」は、

12 区

(水) 14 日

植 水 11 田 11 尻 月 地 月 地 9 区 8 8日 火

11 日

金火 24 16 日 日 (木)

12

月

日

12 月 8

12 日 月

日

ただい

*安芸北組行事「!

内

秋季 永れ

10 月 西楽島相 2018 日日 島根県温田(火)母 朝昼 昭泉 席席 津 生町 まよ

でり

菅原

11月21日(水)朝空23日(水)朝空23日(水)朝空34人会報恩講法定教婦人会報恩講法定 ままよ でり す

法座 廣佐日日(119 区日金湯部長 朝昼 席席 まよ でり

最師 来 英町

カン コロ 例年よりも厳しく感じた猛暑 和らぎ、 ルエンザにも悩まされそうでナはなかなか終息しませんが 秋を迎えました。 ŧ 11 0 年 \mathcal{O} は 間

う思いで振り返るばかりでなく、 を味わう心のゆとりを持ちたいものです ンフル 今年 £ 残り3カ月。 つ の 間に こっかり、 日

ttps://sairinji.or.jp

発行元

西林寺門徒総代会

広島県安芸郡坂町

坂東3-14-17

(082) 885-0018

西 林 寺

本堂とソテツ

XVXVX/X/X/X/X/X/X/X

も た せ る

14

法を

学

尕

かぎ

の

人

生

に

幅

や

深

み

西林寺だより

な つ て ま つ て

> しく る

法 に 遇 う ع は

14

得 の も **の** さ

5

て

かぎ つ 返

私

5 0 0 歩み 2

継職(この時に昭新)されます。されます。当時は町内の彫刻師の記念事業として、 から普現に改 山門と経蔵が 再し、建 職 を

い土塀も整備され、近郊稀な建築美の経備えたもので、その扉はケヤキの1枚板備えたもので、その扉はケヤキの1枚板によって設えられています。この時に両に対郊に類を見ない大きさと華麗さを兼ね近郊に類を見ない大きさと華麗さを兼ねし門は町内の彫刻師(林一族)によっ

 \mathcal{O} たる住職在任中には、

の建物が 鐘楼以外 修されます。 1947) 22 改 7

大にを四よに詣年 ま拡九面う対応の 業張間のに応のは、 もす四本七す増、

朝席7:00~ • 昼席13:15~ • 夜席19:30



今後そ

れぞれ

 \mathcal{O}

例会で、

ました。

そして、

めてこの課題の学びを深

8

(京都市

寺住職)

を迎えて、

仏教文化講

(4)数名)で行いました。と清掃奉仕を仏教婦人会と仏教壮年

会合

同 き

会が開催されました。

々

の生活の中の

出来

き、

1

暑い中、ご参兆

いただ

ご参詣の多

研修会を開催

します。

会

門信徒会館

月 5 日

 $\widehat{\pm}$

時

西林寺坊守

費師

五百円 (仏花実費)

お仏壇にお供えする仏花

(供華)

 \mathcal{O}

活

け

方

会 案

の皆さまと阿弥陀さま

お慈悲をかみしめる、

ただきました。

事をご法義に照らして、

かの

がえの

ひととき

月

10

日

テレビでもおなじみの英月師

8

月 11

月 日

お盆の法座前に仏具のおみが

お

みがき・清掃奉

文

講

演

会

ŧ んしろく)

の思 わ願わ ことでしょうか われた」と思います。願い、それがかなえらわない状況に陥ると、 中い ださまに でも改めて教えられたことです。 の通りにはなりません。それはコロナ禍 それがかなえら わ 私たちは る れたら 自 う の 分の思いにそぐ いつも自分のいった、救転するように はどうい

れは今号の「杖のこと 縛られている私がひ 仏法に遇うとは損得のものさしに もたせることになってしまっている 仏法を学ぶことが人生に幅や深みを っくり返ること

気 聞すればするほど至らない愚かな自己の姿に 仏法を学んだことにはなりません。 くる つくよう ぶことが人生に幅や深みをもたらすことは確 それ です。 \mathcal{O} づきます。 あ 思いに縛られている私がひっくり返るこ つまり りません。そこにとどまっている限す。しかし、それは仏法の本来の目 ったという驚きに換わる」 前だと思ってい 聞こえなか な虚栄心やうぬぼれ心から離れ、 「今まで見えなか 「生き方の転換」 仏法は学んだことが名利と結び 「杖のことば」です。 たものが たものが当たり前では ったも を促すものです。 聞こえてくる。 と言い得ます。 のが見えて 仏法を学 仏法を聴 り 的 で

9

た途端、

自身の損得の思いに振り回され

悩みを重ねる我が身が顕

名利に沈み、

さま \mathcal{O} 生き方の転換です。 めて気づかされ を考える立場 公立場への転換で 仏さまのお心の ます。

いう先人の詩の通り、その歩みが冶まっこ: いう先人の詩の通り、その歩みが冶まっている」と いつのまにか また木の上に登っている」と の上からポタンと落ちた 落ちたうぬぼれは木 思録」でも同様の言及をした「うぬぼれは木 見録」でも同様の言及をした「うぬぼれは木 昨年10月発刊の『西林寺だより』22号「それは決して平坦な歩みではありません。が仏さまに救われるということです。しかしえてゆこうとする地平が開けてきます。そ に向き合い はなく、 いうことは、そういう智慧くださるということです。 に数多の自分の思い さまとひとつとなって生きることです。 無阿弥陀仏の仏さまが、 動する」その 私が のお心に軸をお その 「ものを見る、 「主体」となってはたら 意味を明ら いう智慧としてはたらく仏 にそぐわ いて生 仏法を なる信じる対象で かにし、 ない現前の境遇 聴聞すると 考える、 しかし、 乗 それ そこ ŋ 越 7

す。しかし、こう生き方が転換されても、 のです。 その反復の かし、その気づきに促され聞き返して また元に戻る \mathcal{O} で

2022(令和4)年10月1日

立親 教聖 人 開御 誕 宗生 88 05 00 年年

2

えたことの喜びを込めて、 くださったことへの感謝と、親鸞聖人が南無阿弥陀仏の 行されます。 立教開宗に感謝する慶讃法要が 弥陀仏 聖人のご誕生を祝 \mathcal{O} その教えをお示している。 50 年毎 に 遇

半数) 程で多くのご門徒 5 にご修行になり、 0年の慶讃法要は、 前回の親鸞聖人御誕生80 が参拝しております 西林寺から の皆さま 昭 和 48 (写真 (写真は参加を)も二泊三日の 0 $\widehat{1}$ 写真は参加者の (1973)年 (1973)年 (1973)年

二日の日程で 親鸞聖人御誕生 (水) 画しています 8 法要に参拝 5 西林寺では、 年 0 4 年立教開 より 0 月 12 年の 泊 慶

宗

8

明

だの ょ 次号 り 募集案内 **『西林**



の り 食

いただきました。 日 止し、 9 また、 日に開催 多く 8 月

子どもたちは食事前、

今後の予定

月 より3

よう お

西林寺だより

14

壮

14

婦

合

同

勉

強

会

し込みは仏婦役員まで(20人程度)

10

月 25 日

14

壮

あ

れこれ

人会報恩講法座 H 壮年会行事予 月例会 (お斎は中止 (経典学習会)

定

た。

問いでありた

少な

かった「本かった「本

本

でありなが

5

深く考

仏

.教婦人会と合同の勉強会を7月30以前から仏教壮年会で計画してお

しておりました

日に開催

日

理事会

役員勉強会

14

婦人会

行事予

定

しました。

『歎異鈔』

関連のビデオを

視聴し、

日 日

月)

5 23 日

(水)

します)

当の幸

せとは何

たきな問

11

を共有

意見

月 月 21 10 日 金)

火

水 境内、松の木剪定

 $\widehat{\pm}$ 除夜の鐘つき手伝い

*

12 12 月 月 31 28 日 日 10 毎 25 日

堂

を 警戒のため中 月 28 の皆さまのご参加 は食中

戯で楽しく過ごしました。 つきや紙芝居などの遊もたちは食事前、17時

お 12 11 10 、月月月 10 21 30 26 月日日日 永 永

水

間をお間違え 開催となりま

まで

お 3 ガ 教 室

月に続 講師 いの 正原咲子先生所用のため、 7 月 は 6

先生に代行 いただきま、尾崎明子 火火火



